実践記録

学校/学年	小学校 / 3年	
教科等：単元名	総合：不審な電話がきたら	
キーワード	不審電話 迷惑電話 個人情報	
情報モラル指導 モデルカリキュ ラム表における 目標	分類	情報社会の倫理 法の理解と遵守 安全への知恵 情報セキュリティ 公共的なネットワーク社会の構築
	大目標項目数字 大目標項目内容	e2 情報を安全に利用する事に努める。
	中目標項目番号 中目標項目内容	e2-2 個人の情報は他人にもらさない。
授業会場	パソコン教室 普通教室 特別教室〔 〕 その他〔 〕	
学習の目標	迷惑電話などで個人情報が漏れないようにする意味を理解し実践できるようになる。	
使用教材	教材名	事例で学ぶNetモラル
	製作者	広島県教科用図書販売株式会社
	入手先(URL等)	長野市情報モラルポータルサイト「事例で学ぶNetモラル」

展開案

	学習活動	指導 評価
導入	1、 迷惑電話で知っている事を出し合う。 2、 映像を見る。	・ あった経験を発表させる。 ・ 映像をじっくり見て疑問点などをつかませる。
展開	3、 個人情報が何であるのかをとらえる。 4、 個人情報を他人に漏れたらどうなるのかその悪影響を知る。 5、 個人情報を守るために何をしたらよいか考える。	・ 名前、住所、電話番号、IDやパスワード 保険証に記載されている事柄等が当たる事を押さえる。 ・ 電話で尋ねてくるのは全て偽者であり、決して応じない事を確認する。
おわり	6、 今後迷惑電話がかかってくる事があっても個人情報を教えないことをしっかり確認でき、家族全員が出来るようにしていく事を知る。	・ 学習して大切だと思う事を家族にも伝えるよう指導する。

授業の成果

- ・ 迷惑電話や不審電話の経験がある子はゼロであったが、映像視聴で意味が分かり、個人情報を守る意味が理解でき、個人情報を守る大切さが理解できた。

指導のポイント・留意点

- ・ 個人情報が何であるかをしっかり理解させ、流失したときの大変さを理解させる。